

## 「大阪府人権教育推進計画」の改定案に対する府民意見等と大阪府の考え方

- 募集期間 : 令和4年7月21日(木曜日) 14時から令和4年8月19日(金曜日) 24時まで
- 募集方法 : インターネット(電子申請)、郵便、ファクシミリ
- 意見総数 : 5件(うち意見の公表を望まないもの0件)のご意見をいただきました。いただいたご意見に対する大阪府の考えは以下のとおりです。

No.	ご意見等の内容	大阪府の考え方
1	人権教育はとても大切に意義深いと思います。しかしながら、外国人が小・中学校に入学・転入してきて、「特別支援学級」に入級させている事例が少なくないとの話をよく耳にします。教育現場こそ外国人の人権を尊重する場であってほしいと思いますので、外国人に対する教育へのサポートをこの機会に明文化してほしいです。	本計画では、すべての子どもに、それぞれの状況に即して教育の機会均等の実現を図るとしており、外国人を含むすべての子どもに対して、学校教育の充実に向けた取組を推進することとしています。
2	人権教育はとても大切です。ですので、人権教育を「推進」するのであれば、学校教育現場の人員を増員すべきであり、具体的には人権教育を推進するための持ち時間0の「人権教育主任」またはその責を主とする「副校長」を各校に置くなど、理念だけでは絵に描いた餅なので、マンパワーの増員も明記してほしいです。	人権教育に対する推進体制の整備等については、各学校の状況に即して、工夫しながら推進することとしています。 いただきましたご意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。
3	人権教育の観点から、性差別を助長する「男女別制服」についての問題が、課題から抜け落ちていると思います。 ジェンダーの視点で、性別に違和感を覚える人たちへの配慮を最重点課題に掲げるべきでは。 具体策としては、「制服の廃止」や「男女共通の制服の採用」などに、大阪府をあげて取り組んでほしいです。女子の体操着の「ブルマ」が廃止されたように、未来人から笑われないような学校教育活動を期待します。	本計画では、性の多様性の理解増進に資する教育・啓発の取組を進めるとしており、性的マイノリティの児童生徒等が安心して学校生活を送るために必要な取組を推進することとしています。

4	<p>女性の人権を尊重するためにも、大阪万博開催までに、大阪府下の「遊郭を一掃」して、本当の意味での人権教育を推進する施策に真剣に取り組んで欲しいです。いじめと同じで「見て見ぬふり」が人権上、一番罪が重いと思いませんか。</p>	<p>買売春・人身取引への対策については、「おおさか男女共同参画プラン（2021-2025）」に基づき、その防止に向けた取組を推進することとしています。</p> <p>いただきましたご意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
5	<p><b>3-4 人権教育に関する情報収集・提供機能の充実</b></p> <p><b>(2)人権教育の教材の開発のなかに、「参加体験型学習用の教材を引き続き開発します」とあるが、平成 19 年から 26 年まで継続的に発行されていた教材冊子その後は 2 冊しか発行されていません。</b></p> <p>高い評価を得ていたシリーズであるにもかかわらず、極めて残念です。</p> <p>その後の人権教育に関する動向、SDG s の取組なども踏まえ、教材の開発に取り組んでほしいです。</p>	<p>近年の社会動向や人権課題等を注視しながら、引き続き教材の開発を検討してまいります。</p> <p>いただきましたご意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>